



KYOTO
COLLEGE OF NURSING

2024 年度 授業概要（4 年次）



学校法人 京都育英館

京都看護大学

目次（2024年度4年次）

医学・看護英語リーディング	1
医学・看護英語語彙	2
死生学	3
生涯学習論	4
法からみる医療	5
経済からみる医療	6
家族とジェンダー	7
補完代替療法と癒し	8
看護政策論	9
保健統計学	10
関係法規	11
社会資源コーディネート論	12
臨床実践と看護理論	13
看護教育論	14
看護管理・経営論	15
看護キャリア開発論	16
医療安全	17
災害看護論	18
災害看護技術演習	19
看護技術強化演習	20
課題探求実習	21
総合実習	21
課題探求Ⅱ	22

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
医学・看護英語リーディング		BNNBS7E10	10207	4前	1(30)	必修
担当教員	高橋 詩子					
概要	様々な社会事情の中、緊迫した医療現場の様子が連日報道されている。最後の砦である病院で医療従事者の役割はますます重要になっている。近い将来迎えるであろう国際国家としての日本の医療現場では、医療技術に加え言語能力が必須となる。さあ、病院という舞台を想定してネイティブの使う英語でコミュニケーションしてみよう。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な医療用語に慣れる。 ・外国人患者に、適切に迅速に正確に対応できる。 ・外国人患者を心身共に支えることができる。 ・スピーキングの礎である作文能力を養う。 					
関連科目	医学・看護英語語彙					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	単語小テスト	15%	毎回の単語テスト、リスニング、作文 授業参画:15%	毎回の単語小テストで個別指導		
	定期試験	85%	作文力:25% 読解力:10% 語彙力:25% 口頭表現能力:25%	定期テスト後、問題点は個別に指導		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	ガイダンス(授業の進め方) / Unit 1 : Asking Basic Questions (1)			特に無し		—
2	Unit 2 : A patient's First Visit (1)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習2時間 復習2時間
3	Unit 2 : A patient's First Visit (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習2時間 復習2時間
4	Unit 3 : Where's Internal Medicine ? (1)			前回到指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
5	Unit 3 : Where's Internal Medicine ? (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習2時間 復習2時間
6	Review Unit 1~3 / Reading " Good Health " ⑨ The Effect of Laughter			前回到指定した単語と口語表現		予習2時間 復習2時間
7	Unit 4 : Admission to the Hospital (1)			前回到指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
8	Unit 4 : Admission to the Hospital (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習2時間 復習2時間
9	Unit 5 : Giving information (1)			前回到指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
10	Unit 5 : Giving information (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習2時間 復習2時間
11	Unit 6 : Symptoms (1)			前回到指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
12	Unit 6 : Symptoms (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習2時間 復習2時間
13	Unit 6 : Symptoms (3)			前回到指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
14	Review Unit 4~6 / Reading " Good Health " ⑩ How to Enjoy Drinking			前回到指定した単語と口語表現		予習2時間 復習2時間
15	総復習			指定した単語と熟語 口語表現		予習2時間 復習2時間

使用 テキスト	「 Speaking of Nursing 」南雲堂 「 Good Health 」南雲堂
参考図書	適宜紹介
教員に対する質 問方法	教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
医学・看護英語語彙		BNNBS8E11	10208	4後	1(30)	必修
担当教員	高橋 詩子					
概要	様々な社会事情の中、緊迫した医療現場の様子が連日報道されている。最後の砦である病院で医療従事者の役割はますます重要になっている。近い将来迎えるであろう国際国家としての日本の医療現場では、医療技術に加え言語能力が必須となる。さあ、病院という舞台を想定してネイティブの使う英語でコミュニケーションしてみよう。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な医療用語に慣れる。 ・外国人患者に、適切に迅速に正確に対応できる。 ・外国人患者を心身共に支えることができる。 ・スピーキングの礎である作文能力を養う。 					
関連科目	医学・看護英語リーディング					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	単語小テスト	15%	毎回の単語テスト、リスニング、作文 授業参画:15%	毎回の単語小テストで個別指導		
	定期試験	85%	作文力:25% 読解力:10% 語彙力:25% 口頭表現能力:25%	定期テスト後、問題点は個別に指導		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	Unit 7 : Injuries and Emergencies (1)			特に無し		—
2	Unit 7 : Injuries and Emergencies (2)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習2時間 復習2時間
3	Unit 7 : Injuries and Emergencies (3)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
4	Unit 8 : How are You Feeling ? (1)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
5	Unit 8 : How are You Feeling ? (2)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習2時間 復習2時間
6	Unit 9 : A Patient's Medical History (1)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
7	Unit 9 : A Patient's Medical History (2)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習2時間 復習2時間
8	Unit 9 : A Patient's Medical History (3)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
9	Review Unit 7~9 / Reading " Good Health " (23) Mental Health			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
10	Unit 10 : Medicine (1)			前回に指定した単語とスピーキング練習		予習2時間 復習2時間
11	Unit 10 : Medicine (2)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習2時間 復習2時間
12	Unit 10 : Medicine (3)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
13	Unit 12 : Congratulations ! You're Having a Baby Girl p.104-105			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習2時間 復習2時間
14	Reading " Good Health " (33) Heart Transplant / (39) Plasticity in Brain Development			前回に指定した単語とスピーキング練習		予習2時間 復習2時間
15	総復習			指定した単語、構文、口語表現の復習		予習2時間 復習2時間

使用 テキスト	「 Speaking of Nursing 」南雲堂 「 Good Health 」南雲堂
参考図書	適宜紹介
教員に対する質 問方法	教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
死生学		BNNBS7L16	10302	4前	2(30)	選択
担当教員	佐藤 泰子					
概要	「生」と「死」についての不断の追究が求められる職業につく以上、死生学へのアプローチは不可欠となる。死生に對峙する姿勢の根本になるものが医療者自身の死生観である。死生観の基盤になっている民俗的、歴史的、宗教的、倫理学的思想を概観しながら、科学、医学発展の途上で露わになってきた死生に関わる諸問題について議論することで自身の死生観を捉えてほしい。将来、生命倫理に纏わる問題に直面するとき、自分の行動選択や意思決定を支える枠組みを身につける一助となる授業を展開したい。					
到達目標	1) 死生に関わる諸問題について事例を通じて学び、問題の論点を説明できる。 2) 事例について倫理理論に基づいた論述ができる。 3) 自己の考えを言語化することができる。					
関連科目	哲学と倫理、生涯学習論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価			
	レポート	30%	死生に関わる自身の関心事について調査し考察できる 1)30% 2)30% 3)40%			
	授業参画	70%	授業毎のコメントで授業内容の理解度を確認する 1)30% 2)30% 3)40% (コメントはgoogle formsで提出 URLは別途周知)			
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	死生学とは(なぜ死生学か 死生学与生命倫理)			生活のなかの「死」に関わる問題を意識しておく。		予習2時間 復習2時間
2	安楽死・尊厳死①(終末期医療と安楽死の歴史的背景)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間
3	安楽死・尊厳死②(安楽死の分類・事例)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間
4	安楽死・尊厳死③「尊厳死」という言葉はどこから			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間
5	脳死・臓器移植①(臓器移植法の歴史的背景)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。脳死・臓器移植に関する情報収集。		予習2時間 復習2時間
6	脳死・臓器移植②(脳死の要請とは)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間
7	生命倫理の視座から①(直観的善悪判断の限界と倫理理論)			学修内容について教科書を参考に予習する。復習として功利主義的判断の事例を日常に探す。		予習2時間 復習2時間
8	生命倫理の視座から②(医療倫理のジレンマ)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間
9	人口妊娠中絶(優生保護法と人工妊娠中絶)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。自身の考えをまとめておく。		予習2時間 復習2時間
10	出生前検査(あり方をめぐって・障がいと死生)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間

11	優生思想(ナチス・ドイツと優生学)	学修内容について教科書を参考に予習・復習する。自身の考えをまとめておく。	予習2時間 復習2時間
12	患者差別①(精神医療史にみる精神障がいと死生)	学修内容について教科書を参考に予習・復習する。自身の考えをまとめておく。	予習2時間 復習2時間
13	患者差別②(ハンセン病の歴史と死生)	学修内容について教科書を参考に予習・復習する。ハンセン病に関する情報収集。	予習2時間 復習2時間
14	性的マイノリティー・被災者の死生	左記に関する情報に目を向けておく。	予習2時間 復習2時間
15	スピリチュアルペイン(生きる意味への問い)	学修内容について教科書を参考に予習・復習する。授業全体を通して自身の考えをまとめておく。	予習2時間 復習2時間
使用 テキスト	佐藤泰子 2021年 『死生の臨床人間学 ―「死」からはじまる「生」―』晃洋書房		
参考図書	適宜紹介する		
教員に対する質 問方法	非常勤:教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生涯学習論		BNNBS8L19	10305	4後	2(30)	選択
担当教員	藤原 真美					
概要	<p>生涯学習は、「平等で多様な生き方を受け入れ、貧困を克服し、公正、寛容、持続可能な社会」を支えている。本授業では、そのような生涯学習の意義を理解し、各人の意見と共に他者に説明することが可能になることを目標としている。具体的には、社会における「学び」の現状、課題を把握し、「人間」が「社会」の中で「生活」する上での「学び」の必要性、重要性を確認し議論していく。この講義では、国内外の事例を紹介しながら、生涯学習を当事者、情報提供者の視点から捉え、今後自己がどのように関わることかを検討していく。</p>					
到達目標	<p>(1)生涯学習の意義を理解し、討論できる (2)「学び続ける自己」をイメージでき、それを自ら言語化し述べるができるようになる (3)看護師や対人援助の専門職と生涯学習の関連について論じることができる</p>					
関連科目	死生学、哲学と倫理					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	授業参画	60	達成目標1:30% 到達目標2:30%	次回授業時にコメント		
	課題	40	到達目標2:20% 到達目標3:20% (課題1・2:各10%、 課題3:20%)	課題に対しコメントを記述し返却		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	概要(自己紹介、授業のねらいと概要、シラバスの説明)、「学ぶ」の意味を考える			【予習】①シラバスを読み何を学ぶのか考える ②これまでの自分自身の学びについて、自分の言葉で伝えられるよう準備をする 【復習】学ぶとは何かを考える		予習2時間 復習2時間
2	生涯学習とは何か			【予習】生涯学習とは何か調べる 【復習】生涯学習について考える		予習2時間 復習2時間
3	生涯学習施設・社会教育施設の種類と機能			【予習】過去に利用した学習・社会教育施設について調べる 【復習】各学習施設の種類と機能について整理する		予習2時間 復習2時間
4	学習者・地域の特性に応じた学習課題と支援			【予習】出身地域の特性(地理・文化・産業)について調べる 【復習】講義中に指示する		予習2時間 復習2時間
5	多様な学習方法・形態			【予習】講義資料を読む 【復習】講義中に指示する		予習2時間 復習2時間
6	社会経済・社会の変化と学びの変遷			【予習】講義資料を読む 【復習】講義中に指示する		予習2時間 復習2時間
7	ライフステージと生涯学習(幼年期、少年期、青年期)			【予習】講義中に指示する 【復習】講義中に指示する		予習2時間 復習2時間
8	ライフステージと生涯学習(壮年期、中年期、高齢期)			【予習】講義中に指示する 【復習】講義中に指示する		予習2時間 復習2時間

9	国内外の生涯学習(先進国)	【予習】講義中に指示する 【復習】講義中に指示する	予習2時間 復習2時間
10	国内外の生涯学習(途上国)	【予習】講義中に指示する 【復習】課題1	予習2時間 復習2時間
11	生涯学習・社会教育の行政政策と政策動向国際的動向	【予習】講義資料を読む 【復習】講義中に指示する	予習2時間 復習2時間
12	民間・NGO・ボランティア・行政が連携した生涯学習	【予習】興味があるボランティアやNGOを調べる 【復習】課題2	予習2時間 復習2時間
13	専門職と生涯学習	【予習】講義中に指示する 【復習】講義中に指示する	予習2時間 復習2時間
14	これまでの振り返り・看護師や対人援助者としての生涯学習	【予習】これまでの配布資料を読み講義内容の振り返りをする 【復習】課題3	予習2時間 復習2時間
15	まとめ	【予習】これまでの講義資料を読む 【復習】授業資料で復習	予習2時間 復習2時間
使用テキスト	なし		
参考図書	長岡智寿子・近藤牧子(2020)「生涯学習のグローバルな発展」東洋館出版社 野村拓(2020)「医療・福祉職の生涯学習」錦房		
教員に対する質問方法	教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
法からみる医療		BNNBS7L21	10401	4前	2(30)	選択
担当教員	須永 知彦					
概要	<p>看護の実施には法も深く関係する。法は行動の制約要因であるが、それだけでなく、医療従事者と患者の間の適切な関係の構築を手助けし、より良い医療・より良い看護を実現していく社会的な仕組みでもある。この法について、法とは何か、法の領域では物事はどのように考えられているのか(法的思考)、法の観点から医療・看護を見るときにポイントになるのはどのような点かを学ぶことによって、法的な観点から看護活動を省みる素地を養う。また、医療・看護の観点から法を批判的に検討する可能性も認識する。このため、憲法、刑法、民法といった基本的な法の位置づけと概要を把握したあとで、医療・看護の場面でそれらの法が実際にどのように機能するのかを検討していく。その際に、医療法、保健師助産師看護師法(そして医師法)にも触れる。そして、これらによって、倫理観、人権感覚を身につけ、また医療をめぐる様々な問題を考察していくための論理的思考力も獲得する。</p> <p>全15回の授業は、以下の2部構成となっている： ・第1回から第7回：民法や刑法などの基礎。具体例などはできる限り医療との関係を見据えたものによる。 ・第9回以降：その医療の場面での応用。なお、第8回も第6回・第7回を受けた応用である。</p>					
到達目標	<p>医療従事者としての職業倫理と人権擁護の姿勢を身に着けること、法的思考を通じて論理的思考の一助とすることが目標だが、より具体的には次のようなことを含む。</p> <p>1)法の世界の基本的な概念の理解の上にたち、それらの相互関係を法的思考に基づいて(医療の観点も加味しながら)説明することができる。</p> <p>2)医療・看護に関する主要な判例の内容と位置づけを説明することができる。</p> <p>3)以上で得られた法に関する知識と考え方を看護実践の具体的場面にあてはめ、あるべき行動を考え、説明することができる。</p> <p>4)問題の社会的背景の理解をもとに、現行の法解釈や法制度の問題点を指摘し、政策的な観点を含めて改善策を論じることができる。</p>					
関連科目	「現代社会の仕組み」「家族とジェンダー」と関連を有し、他に医療・看護と家族を扱う科目や、「社会福祉」などと一部関連を有する。					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	小テスト	49	語句を答える問題や多肢選択問題に加えて、簡単な説明問題により 1)60%+2)40% 7点満点のテストを7回(授業2回ごとに1回)実施する。	採点済み答案の返却、解答例・解説の配布、授業での解説		
	定期試験	51	記述問題を中心として、 2)40%+3)40%+4)20%	解答例と解説の配布		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容	予習・復習内容			取組時間	
1	以下、各回において、「」で掲げる題目について教員からの説明、重要事項や判例・文献の内容に関する質疑応答、簡単な討論を行う。 「医療にとっての法の意味」 「法の世界の見取り図：公法と私法」	予習：事前に配布する講義資料、各回に「」で掲げる判例・文献を購読する。予習を前提にして授業を進める。 復習：各回に「」で掲げる判例・文献について、授業内容をふまえて、講義資料とテキストの関係個所も参照しながら、担当教員の提示する質問に答えられるように読み直す。適切な復習が行われているかは、主に小テストで定期的に確認する。 「テキスト第1章」			予習2時間 復習2時間	
2	「医療・看護・健康と基本的人権」憲法を中心とする法制度、その中での医療関係法規の位置付けの確認；小テスト1	「テキスト第1章、第7章1及び2」第7章の実験・研究的医療については、ここでは例として採り上げる。			予習2時間 復習2時間	
3	「刑事法の基礎：犯罪と刑罰」構成要件・違法性・有責性と刑罰の意味	「テキスト第8章1及び2、第2章1」			予習2時間 復習2時間	

4	「民事法の基礎(1):不法行為」様々な事故の処理としての損害賠償等;小テスト2	「テキスト第8章1及び2」、「判例:認知症高齢者の起した事故と家族の責任に関する判例」	予習2時間 復習2時間
5	「民事法の基礎(2):契約」契約による関係形成の意味と限界	「テキスト第1章4」、「判例:契約と「公序良俗」」	予習2時間 復習2時間
6	「民事法の基礎(3):家族関係」婚姻と親子そして親族;小テスト3	「テキスト第6章」、「判例:性同一性障害による戸籍上の性別変更をした後に婚姻し生殖補助医療により子をもうけた場合の親子関係」	予習2時間 復習2時間
7	「民事法の基礎(4):法的人格と成年後見制度」権利能力・意思能力・行為能力と成年後見制度	「成年後見関係事件の概況」(裁判所ホームページより、最新のもの)	予習2時間 復習2時間
8	「財産管理と扶養、介護・介助」成年後見制度の運用状況と課題、及び扶養、公的扶助、介護・介助等の全体像(第6回の応用を含む);小テスト4	「成年後見関係事件の概況」(裁判所ホームページより、最新のもの)、「別途配布する私的扶養に関する文献」	予習2時間 復習2時間
9	「医療と法(1):契約としての医療」(第5回の応用)	「テキスト第1章4、第2章」、「判例:神戸診療拒否事件判例」	予習2時間 復習2時間
10	「医療と法(2):医療と行政的規制(医療機関と看護師に対する監督)／医療関係情報と個人情報保護」;小テスト5	「テキスト第2章・第3章」(医療と行政的規制)、「テキスト第4章」(医療関係情報)	予習2時間 復習2時間
11	「医療と法(3):説明と自己決定」(第4回・第5回の応用)	「テキスト第8章2(特に266～275頁)」、「判例:乳房温療法事件」	予習2時間 復習2時間
12	「医療と法(4):医療事故・医療過誤その1:民事責任の実際と過失の判断構造」(第3回・第4回の応用);小テスト6	「テキスト第8章2(特に258～265頁)」、「判例:未熟児網膜症事件」	予習2時間 復習2時間
13	「医療と法(5):医療事故・医療過誤その2:民事責任における因果関係判断、刑事責任、医療事故調査制度」(第3回・第4回の応用)	「テキスト第8章2(特に275～284頁)及び3」、「医療事故調査制度の資料」	予習2時間 復習2時間
14	「医療と法(6):生殖医療と法」(第6回の応用);小テスト7	「テキスト第6章」、「判例:凍結受精卵による出産と同意」	予習2時間 復習2時間
15	「医療と法(7):先端的医療と法／終末期医療と法」(第2回・第3回の応用) 「全体のふりかえりとまとめ」	「テキスト第7章」(先端的医療)、「テキスト第9章・第10章」(終末期医療)	予習2時間 復習2時間
使用テキスト	手嶋豊「医事法入門 [第6版]」(有斐閣・2022年)		
参考図書	・米村滋人「医事法講義 [第2版]」(日本評論社・2023年) ・テキストを補う判例・文献資料は都度事前に配布する。		
教員に対する質問方法	非常勤:教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
経済からみる医療		BNNBS7L22	10402	4前	2(30)	選択
担当教員	安東 宇揚◎、海老沼 翔太、本田 雄大、田淵 あゆ、猪口 和美、岡田 武大					
概要	本講義では、 医療保険制度、財政、医療経済評価等 の基礎的な知識を身につけ、看護師として 医療経済学的な視点 から社会について考える力を養う。					
到達目標	【目的】 基礎的な医療経済学の知識を学修し、様々な問題に対する医療経済学的な見方を説明できる。 【目標】 1) 医療経済学に関する基礎的な知識を説明できる。 2) 医療現場や政策等の様々な問題に関して医療経済学的に論じる。					
関連科目	法からみる医療、家族とジェンダー					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法		
	授業参画	40				
	レポート	60		コメントを記述し返却		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容	予習・復習内容			取組時間	
1	オリエンテーション 医療経済学とは・各講義のガイダンス(猪口)	【予習】医療経済というキーワードでインターネット検索をし、自分なりに考えてみる。			予習2時間 復習2時間	
2	UHC:日本における医療格差(猪口)	【復習】日本のUHCの課題は何か自分なりの考えを整理する。			予習2時間 復習2時間	
3	UHC:世界における医療格差(猪口)	【復習】世界のUHC達成のために何が必要か自分なりの考えを整理する。			予習2時間 復習2時間	
4	医療の質と経済性(田淵)	【予習】質の高い医療とは何かを考える。			予習2時間 復習2時間	
5	看護現場と医療経済(安東)	【予習】看護現場の現状と課題についてインターネットで調べてみる			予習2時間 復習2時間	
6	医療情報の活用(安東)	【予習】いろいろな情報がある中で何が医療情報なのかを考えてくる			予習2時間 復習2時間	
7	医療経済評価 概要、測定方法、便益、効果、効用分析(岡田)	【予習】高価な医療技術/医薬品について、インターネットで調べておく。「健康者の健康」と「障害者の健康」は等しいか、を考えておく。 【復習】実習で学んだ看護の価値観と、本講義で			予習2時間 復習2時間	
8	行動経済学(海老沼)	【予習】行動経済学というキーワードでインターネット検索して事例をいろいろ調べておく			予習2時間 復習2時間	
9	外科と医療経済(海老沼)	【予習】外科手術を行うのにどれくらいお金がかかるのかインターネットなどを使って調べてくる			予習2時間 復習2時間	
10	健康格差と社会格差(田淵)	【予習】格差社会がなぜ健康に悪いのか考えておく。			予習2時間 復習2時間	

11	職場と健康/健康経営とは(安東)	【予習】仕事と健康の関わりについて考える。 【復習】講義で紹介されたキーワードを整理する。	予習2時間 復習2時間
12	職場と健康/健康経営の実践(岡田)	【予習】身近な企業が従業員の健康のためどのような施策を行っているのか調べてみる。	予習2時間 復習2時間
13	日本の医療保険制度 概要とその歴史(本田)	【予習】医療保険とは何か調べておく。	予習2時間 復習2時間
14	日本の保険制度 介護保険制度と地域包括ケア(本田)	【予習】地域包括ケアシステムについて調べておく。	予習2時間 復習2時間
15	日本の医療財政(岡田)	【予習】日本の医療保険制度(4,5講)を復習する。そのうえで、日本の病院が黒字経営なのか、インターネットで調べる。	予習2時間 復習2時間
使用テキスト	特になし、毎回講義の際に資料を配布する。		
参考図書	適宜紹介する。		
教員に対する質問方法	非常勤:教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
家族とジェンダー		BNNBS7L24	10404	4前	2(30)	選択
担当教員	進藤 雄三		実務歴			
概要	<p>家族は、人類社会に普遍的な社会集団であると考えられているが、一方で家族ほど多様であり、歴史的変容の著しい集団も少ない。また、ジェンダー概念が導入されて以降、女性に対する見方が大きく変化してきている。授業では、ジェンダー論の視点から、家族や女性の現状とこれからについて考えていく。</p>					
到達目標	<p>1) ジェンダーという概念について自分なりの考え方を説明できる。 2) 現代家族が抱えるさまざまな問題について説明できる。 3) パートナーシップ制など、家族をめぐる新しい流れを説明できる。 4) 医療・看護をジェンダー論や家族論の視点から考えることができる。</p>					
関連科目	現代社会のしくみ、母性看護学、小児看護学、高齢者支援論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	レポート	60%	1)~4) 各12.5%	定期試験後のレビューで説明		
	提出物	40%	1)~4) 各12.5%	提出後の次講義で総評を解説		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	オリエンテーション…授業の進め方について			【予習】イエ、ジェンダーについて調べる 【復習】第1講について復習		予習 0.5時間 復習 0.5時間
2	家族：核家族概念と家族の多様化			【予習】ジェンダー概念について調べる 【復習】第2講について復習		予習 0.5時間 復習 0.5時間
3	ジェンダー：ジェンダー概念の誕生と多様化			【予習】婚姻・生殖について調べる 【復習】第3講について復習		予習 0.5時間 復習 0.5時間
4	家族とジェンダー：婚姻・生殖・ケア			【予習】婚姻・生殖について調べる 【復習】第4講について復習		予習 0.5時間 復習 0.5時間
5	家族とジェンダーの変容：イエから近代家族を経て現代家族へ			【予習】イエ、近代家族について調べる 【復習】第5講について復習		予習 0.5時間 復習 0.5時間
6	現代への変化1：婚姻と性別分業 ①問題提示とグループワーク			【予習】婚姻の変化について調べる 【復習】グループで調べたことをまとめる		予習0.5時間 復習2時間
7	現代への変化1：婚姻と性別分業 ②発表と討議			【予習】提出ファイルの作成準備 【復習】発表と討議内容について復習		予習2時間 復習0.5時間
8	現代への変化2：生殖・出産 ①問題提示とグループワーク			【予習】生殖・出産の変化について調べる 【復習】グループで調べたことをまとめる		予習0.5時間 復習2時間
9	現代への変化2：生殖・出産 ②発表と討議			【予習】提出用ファイルの作成準備 【復習】発表と討議内容について復習		予習2時間 復習0.5時間
10	現代への変化3：子ども ①問題提示とグループワーク			【予習】子どもの問題について調べる 【復習】グループで調べたことをまとめる		予習0.5時間 復習2時間

11	現代への変化3: 子ども ②発表と討議	【予習】提出ファイルの作成準備 【復習】発表と討議内容について復習	予習2時間 復習0.5時間
12	現代への変化4: 高齢者 ①問題提示とグループワーク	【予習】高齢者問題について調べる 【復習】グループで調べたことをまとめる	予習0.5時間 復習2時間
13	現代への変化4: 高齢者 ②発表と討議	【予習】提出用ファイルの作成準備 【復習】発表と討議内容について復習	予習2時間 復習0.5時間
14	家族・ジェンダー・医療	【予習】家族・ジェンダー・医療の関わりについて調べておく 【復習】第14講について復習	予習1時間 復習0.5時間
15	まとめ	【予習・復習】授業全体の振り返りおよびレポート作成の準備	予習2時間 復習2時間
使用テキスト	なし		
参考図書	授業時に紹介する。		
教員に対する質問方法	メール オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
補完代替療法と癒し		BNSB8E13	20206	4後	1(30)	選択
担当教員	◎田口 豊恵	実務歴	有	看護師として病院に13年勤務		
担当教員	中森 美季	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
担当教員	米澤 慶子	実務歴	有	看護師として病院に5年・保健所に8年勤務		
担当教員	吉田 行宏	実務歴	有	鍼灸師として病院に勤務		
概要	患者のセルフケア促進や症状緩和を目的に、看護師の自立的な判断で行われる代表的な補完代替療法(光療法、ヒーリングタッチ、Mテクニック、漢方、アロマセラピー、東洋医学、リンパマッサージ)について学び、ホリスティックなケアが内包する癒しの力について考える。また、講義で学んだ理論および基本技術を通して臨床応用の可能性について考究できる。					
到達目標	1. ブライトケアの目的と効果について説明できる。 2. ヒーリングタッチの目的と効果について説明できる。 3. 東洋医学の種類と効果について説明できる。 4. リンパ浮腫ケアの基本的な技術とその適応について説明できる。 5. 漢方の種類と効果について説明できる。 6. アロマセラピーの種類と効果について説明できる。 7. 代表的な補完代替療法を通して、臨床応用の可能性について考究する。					
関連科目	3年次の領域別実習科目全て					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	レポート	78%	到達目標7	レポート評価の視点を事前に示し、コメントを返す		
	事前課題、事後課題への取り組み	22%	到達目標1～6:24%	講義内にフィードバックする		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	講義ガイダンス、サーカディアンリズムと睡眠の関係			【事前課題】:補完代替療法、癒しの意味について調べる 【事後課題】:自己の睡眠改善法を考えてまとめる		1
2	ブライトケアの実施と評価			【事前課題】:光とサーカディアンリズムの関係を調べる 【事後課題】:自己の生活リズムを振り返りまとめる		1
3	漢方薬の実例と服用方法 主な漢方薬と副作用			【事前課題】:漢方薬とその副作用について調べる 【事後課題】:漢方薬についての考えをまとめる		1
4	アロマセラピーの薬理作用と副作用			【事前課題】:アロマセラピーの薬理作用について調べる 【事後課題】:アロマセラピーの副作用をまとめる		1
5	漢方フィジカルアセスメントの実際 看護とアロマセラピー			【事前課題】:解剖学の再復習、アロマセラピー療法について調べる 【事後課題】:看護と漢方フィジカルアセスメントおよびアロマセラピーについてまとめる		1
6	東洋医学的な概念と診察法			【事前課題】:陰陽五行、気血水について調べる 【事後課題】:東洋医学的な診察を用いて、調子のよい日と悪い日の自分の状態についてまとめる		1
7	東洋医学的な治療法とその効果			【事前課題】:鍼と灸の種類について調べる 【事後課題】:自分の症状とツボの関係についてまとめる		1

8	ヒーリングタッチの概論	【事前課題】:ヒーリングタッチの歴史について調べる 【事後課題】:ヒーリングタッチの効果についてまとめる	1
9	ヒーリングタッチの実践と評価		1
10	Mテクニックの概論 Mテクニックの実施と評価	【事前課題】:マッサージの効果についての論文を読み、持参する 【事後課題】:Mテクニックの臨床応用についてまとめる	1
11	リンパ浮腫概論 リンパ浮腫の複合的治療の基本的な考え方と基本手技	【事前課題】:浮腫とそのメカニズムについて調べる 徒手リンパドレナージ、圧迫療法について調べる	1
12	圧迫療法の基本的な考え方と基本手技	【事後課題】:リンパ浮腫のメカニズムについてまとめる	1
13	徒手リンパドレナージの基本手技の実際	【事前課題】:リンパ浮腫の複合的治療の基本的な考え方についてまとめる	1
14	圧迫療法の基本手技の実際	【事後課題】:リンパ浮腫野複合的治療による対象者への効果について、全人的にまとめる	1
15	補完代替療法と看護	【事前課題】1～8講の復習、資料を確認する 【事後課題】補完代替療法の臨床応用についてまとめる	1
使用テキスト	テキストは使用しない		
参考図書	授業内で紹介する		
教員に対する質問方法	常勤:メールアドレス:田口豊恵 t_taguchi@kyotokango.ac.jp, 中森美季 m_nakamori@kyotokango.ac.jp 非常勤:教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp) オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護政策論		BNNSB8L20	20401	4後	1(30)	必修
担当教員		実務歴				
概要	近年、 保健・医療・福祉を統合したヘルスケアシステム が整備され、看護職能の活動の対象や場が拡大してきている。このような社会情勢のなかで 質の高い看護活動 を提供するために、活動しやすい環境作りが求められ、その具体的方策としての看護政策の重要性を述べる事ができる。 看護政策の歴史的発展過程と看護職が抱える課題 を理解し、看護専門職として医療を支える法律や制度を踏まえて、 課題解決の具体的解決方法 を挙げる事ができる。また、多様な職場において、 看護専門職としての役割とキャリアの方向性 を述べる事ができる。					
到達目標	1.看護政策の歴史的発展課程について説明できる。 2.保健医療福祉制度について説明できる。 3.看護制度と政策決定過程を説明できる。 4.看護職を取り巻く課題について討議し、解決策を検討することができる。					
関連科目	看護管理・経営論 看護キャリア開発論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	授業内課題	50%	到達目標1 -10% 到達目標2 -10% 到達目標3 -15% 到達目標4 -15%	授業内で解説		
	レポート	50%	到達目標1 -10% 到達目標2 -15% 到達目標3 -10% 到達目標4 -15%	コメントを入れて返却		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	○
回	学修内容		予習・復習内容			取組時間
1	看護政策を学ぶ意義、看護政策の理念・目的		(予習)教科書第1章社会保障の概念を読み、理解する (復習)なぜ看護政策を学ぶ必要があるかについてまとめる			1時間
2	看護政策の歴史的変遷 ★GW① 現在の看護職を取り巻く様々な課題について		(予習)現在の看護職の看護提供上の問題を整理する (復習)グループワークの議論を振り返り、自分の意見を整理する			1時間
3	グループディスカッションのまとめと発表		(予習)グループとして一定の見解が得られるよう情報を整理する (復習)身近にある様々な看護問題について理解を深め、まとめる			1時間
4	日本の医療政策の変遷 医療法、医療提供体制、医療機能分化政策		(予習)教科書第3章を読み、医療政策や看護政策について理解する (復習)医療制度の問題について、講義内容を踏まえまとめる			1時間
5	医療政策と看護政策 看護職員の確保と教育に関する政策 ★GW② 看護職員の人材確保について考える		(予習)看護師確保の必要性について整理する (復習)グループワークの議論を振り返り、自分の意見を整理する			1時間
6	グループディスカッションのまとめと発表		(予習)グループとして一定の見解が得られるよう情報を整理する (復習)グループワークの議論を振り返り、自分の意見を整理する			1時間

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
保健統計学		BNNSB7L22	20403	4前	1(30)	選択
担当教員	齋藤 真					
概要	看護学において 保健統計データ を的確に解釈をすること重要な技法です。本講義では、看護学分野におけるさまざまな情報を活用することを目的に、統計学の基礎とSPSSを用いた保健統計データの処理技法を学びます。本授業ではデータの特性に合わせて処理ができるように統計解析の考え方や得られた結果の解釈を学び、さらに科学的な思考ができるように導きます。					
到達目標	1. 統計学および保健統計学の基礎知識を理解し、説明できる。 2. 統計処理ソフトの操作を理解できる。 3. 保健データについて統計学に分析する手法を理解し、結果を説明できる。					
関連科目	情報リテラシー、暮らしの中の統計処理					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法		
	筆記試験	100	60点以上	試験後に解説		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	オリエンテーション(本講義の学び方) 統計学の基礎①(分布、パラメトリックとノンパラメトリック)			統計学の教科書や各自のノートの点検を行う。		1時間
2	統計学の基礎②(代表値、ばらつき)			統計学の教科書で該当する部分を熟読する。		1時間
3	統計学の基礎③(推定、検定)			統計学の教科書で該当する部分を熟読する。		1時間
4	統計学の基礎④(代表値、ばらつき、推定、検定に関する問題演習)			2, 3回の授業を復習し、問題演習を行う。 USBメモリを持参すること。		1時間
5	SPSSを用いた保健統計①(SPSSの使い方について基本を学ぶ。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
6	SPSSを用いた保健統計② (記述統計について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
7	SPSSを用いた保健統計③ (相関・回帰について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
8	SPSSを用いた保健統計④ (t検定について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
9	SPSSを用いた保健統計⑤ (t検定について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間

10	SPSSを用いた保健統計⑥ (カイニ乗適合度の検定について模擬データを処理し、理解を深める。)	テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。	1時間
11	SPSSを用いた保健統計⑦ (カイニ乗独立性の検定について模擬データを処理し、理解を深める。)	テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。	1時間
12	SPSSを用いた保健統計⑧ (マンホイットニーのU検定、ウイルコクソンの符号付き順位検定について模擬データを処理し、理解を深める。)	テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。	1時間
13	SPSSを用いた保健統計⑨ (一元配置法分散分析および多重比較について模擬データを処理し、理解を深める。)	テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。	1時間
14	SPSSを用いた保健統計⑩ (3群以上のノンパラメトリック検定および多重比較について模擬データを処理し、理解を深める。)	テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。	1時間
15	まとめ(SPSSを用いたデータの処理について総括する。)	統計学の教科書およびテキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。	1時間
使用 テキスト	オリジナルテキスト(SPSS Tips2024、開校時に説明する。)		
参考図書	看護師・保健師をめざす人のやさしい統計処理 -保健・医療データの活用-(実教出版) ※1年次に「暮らしの中の統計処理」で使用した教科書		
教員に対する質問方法	非常勤:教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)		

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
関係法規	BNNENS12L10	202230111	4前	1(30)	必修
担当教員	奥田 のり美	実務歴	有	看護師として病院に21年	
概要	<p>看護職員にとって最も重要な法律である保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の促進に関する法律について解説する。医療に関する法律である医事法、国民の健康の保持・増進を目的とする保健衛生法、薬務法、社会保険法、福祉法、そして労働条件と職場の安全衛生について定めた労働基準法・労働安全衛生法等の基礎知識を解説する。</p> <p>学修にあたっては、これらの法令を単に知識として学ぶだけではなく、なぜこのような内容になっているのか、看護との関係はどのようなのかについて、他の科目で学んだこと、あるいは日常生活や実習での経験、さらにテレビ・インターネット等からの情報とも関連づけて理解する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護がどのような法律に準拠して行われているのか述べることができる。 2. 看護を取り巻く多職種の法律について説明できる。 3. 国民の健康の保持・増進を目的とする法律を述べることができる。 4. 社会福祉の基盤となる法律を述べることができる。 5. 労働者の健康を守る法律を説明できる。 6. 環境の保全と公害の防止に関する法律を挙げることができる。 				
関連科目	看護政策論、社会資源コーディネイト論、社会福祉				
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	100%	到達目標1. 2-30% 到達目標3. 4-50% 到達目標5. 6-20%	定期試験レビューで説明	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践
◎					◎
○					○
回	学修内容		予習・復習内容		取組時間
1	ガイダンス・法とは		<p>【予習】</p> <p>①シラバスを読み何を学ぶのか考える。</p> <p>②テキストのはしがきを読み日本の現状を理解する。</p> <p>【復習】</p> <p>①第1章 法の概念のゼミナール2, 3をまとめる。</p>		予習0.5時間 復習0.5時間
2	看護法とは		<p>【予習】</p> <p>①テキスト看護法A・Bを読む。</p> <p>【復習】</p> <p>①第2章看護法のゼミナール1, 4をまとめる。</p>		予習0.5時間 復習0.5時間
3	医事法とは		<p>【予習】</p> <p>①テキスト医事法A, B, Cを読む。</p> <p>【復習】</p> <p>①第3章 医事法のゼミナール3, 5をまとめる。</p>		予習0.5時間 復習0.5時間
4	看護法。医事法の小テスト・解説 保健衛生法(共通保健法)		<p>【予習】</p> <p>①テキスト保健衛生法Aを読む。</p> <p>【復習】</p> <p>①小テストの見直し</p> <p>②第4章 保健衛生法のゼミナール2をまとめる。</p>		予習0.5時間 復習0.5時間
5	保健衛生法(分業別保健法・感染に関する法律)		<p>【予習】</p> <p>①テキスト保健衛生法B・Cを読む。</p> <p>【復習】</p> <p>①第4章 保健衛生法3～7のゼミナールをまとめる。</p>		予習0.5時間 復習0.5時間

6	保健衛生法(食品に関する法等) 保健衛生法の小テスト	【予習】 ①テキスト保健衛生法D・Eを読む。 【復習】 ①小テスト見直し	予習0.5 時間 復習0.5 時間
7	薬務法(薬事一般に関する法律等)	【予習】 ①テキスト薬務法A・B・C・Dを読む。 【復習】 ①テキスト第5章 薬務法のゼミナール3～6をまとめる。	予習0.5 時間 復習0.5 時間
8	社会保険法(費用保障)	【予習】 ①テキスト社会保険Aを読む。 【復習】 ①テキスト第6章 社会保険のゼミナール1.2.3をまとめる。	予習0.5 時間 復習0.5 時間
9	社会保険法(年金等) 薬務法・社会保険法の小テスト・解説	【予習】 ①テキスト社会保険Bを読む。 【復習】 ①小テストの見直し	予習0.5 時間 復習0.5 時間
10	福祉法(福祉の基盤・児童分野)	【予習】 ①テキスト福祉の基盤A・Bを読む。 【復習】 ①生活保護法・児童福祉法についてまとめる。	予習0.5 時間 復習0.5 時間
11	福祉法(高齢分野・障害分野)	【予習】 ①テキスト福祉の基盤C・Dを読む。 【復習】 ①老人福祉法・障害者総合支援法についてまとめる。	予習0.5 時間 復習0.5 時間
12	福祉法の小テスト・解説 労働法と社会基盤整備	【予習】 ①テキスト労働法と社会基盤整備A・Bを読む。 【復習】 ①小テストの見直し ②労働基準法・労働安全衛生法についてまとめる。	予習0.5 時間 復習0.5 時間
13	環境法とは	【予習】 ①テキスト環境法A・B・Cを読む。 【復習】 ①環境法、大気汚染防止法についてまとめる。	予習0.5 時間 復習0.5 時間
14	最新の人口静態、動態・その他の統計	【予習】 ①事前資料を読む 【復習】 ①人口静態・動態をまとめる。	予習0.5 時間 復習0.5 時間
15	最新の人口静態、動態・その他の統計・環境法の小テスト	【予習】 ①事前資料を読む 【復習】 ①小テストの見直し	予習0.5 時間 復習0.5 時間
使用 テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ 医学書院		
参考図書	必要時に提示します。		
教員に対する 質問方法	メールアドレス:n_okuda@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
社会資源コーディネート論		BNSB7L25	20406	4前	1(30)	選択
担当教員	◎井上 深幸		実務歴	有	看護師として病院/診療所に勤務	
概要	<p>地域包括ケアシステムが推進される背景を近年の動向として理解し、地域包括ケアシステムがどのような政策・計画によって推進されているか学修する。次に、地域包括ケアを推進する入退院支援について学修するとともに、地域包括ケアを推進する社会資源を、高齢者支援論、在宅看護論、社会福祉等での学修と結びつけて、地域包括ケアシステムについて理解を深める。また、近年の継続看護の考え方についても理解を深め、これからの看護師に求められる役割について考察する。</p> <p>これらの学修を通して、外部環境を含めた全人的に人を理解する能力及び適切な看護実践ができる能力を高める。</p>					
到達目標	<p>1)地域包括ケアを推進する入退院支援制度について説明できる。 2)地域包括ケア時代の継続看護の考え方と看護職の役割について説明できる。 3)療養生活を支える社会資源を適切に選択できる。 4)地域包括ケアシステムについて説明できる。</p>					
関連科目	高齢者支援論、在宅看護論、精神看護学、社会福祉、総合実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	80%	1)15% 2)25% 3)40%	定期試験後のレビューで説明		
	授業参画	20%	2)10% 3)10%	授業内でフィードバック		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	ガイダンス 地域包括ケアシステムが推進される背景			復:地域包括ケアシステムについて		1時間
2	医療計画と地域医療構想			予:医療介護総合確保推進法 復:地域医療構想		予習0.5時間 復習0.5時間
3	入退院支援のしくみ			予:入退院支援の動向 復:退院支援における看護師に求められる視点		予習0.5時間 復習0.5時間
4	生活と医療を統合する看護			予:p1~11を読む 復:地域包括ケアにおける看護師に求められる視点		予習0.5時間 復習0.5時間
5	求められる継続看護			予:p14~26を読む 復:継続看護の概念		予習0.5時間 復習0.5時間
6	地域包括ケアにおける継続看護の実践			予復:保健・医療・福祉の社会資源		予習0.5時間 復習0.5時間
7	地域包括ケアにおける継続看護の実践(慢性疾患とともに生きる)			予復:保健・医療・福祉の社会資源		予習0.5時間 復習0.5時間
8	地域包括ケアにおける継続看護の実践(心疾患を持つ人への支援)			予復:保健・医療・福祉の社会資源		予習0.5時間 復習0.5時間
9	地域包括ケアにおける継続看護の実践(認知機能低下のある人への支援)			予復:事例に沿った社会資源の知識		予習0.5時間 復習0.5時間
10	地域包括ケアにおける継続看護の実践(頸髄損傷者と家族への支援)			予復:事例に沿った社会資源の知識		予習0.5時間 復習0.5時間
11	地域包括ケアにおける継続看護の実践(医療的ケアを必要とする子どもの支援)			予復:事例に沿った社会資源の知識		予習0.5時間 復習0.5時間

12	地域包括ケアにおける継続看護の実践と社会資源	予復:事例に沿った社会資源の知識	予習0.5時間 復習0.5時間
13	地域包括ケアにおける継続看護の実践と社会資源	予復:事例に沿った社会資源の知識	予習0.5時間 復習0.5時間
14	地域包括ケアにおける継続看護の実践と社会資源	予復:事例に沿った社会資源の知識	予習0.5時間 復習0.5時間
15	まとめ	予復:到達目標の自己評価	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	長江弘子編(2018) 継続看護マネジメント第2版 医歯薬出版株式会社		
参考図書	適宜紹介する。		
教員に対する 質問方法	メールアドレス:m_inoue@kyotokango.ac.jp y_yamakawa@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー		時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
臨床実践と看護理論		BNNHN12L10		202240110	4前	1(30)	必修
担当教員	津波古 澄子		実務歴	有			
担当教員	宇野 真由美		実務歴	有			
概要	看護実践、教育、研究で用いられている看護理論を理解し、自己の実習経験を省察するとともに、看護理論との照合・適合・齟齬を考察するなかで、看護理論の看護実践への活用の可能性と限界について思考する。さらに、看護専門職として、看護における理論の重要性について考察する。						
到達目標	1)臨地で経験した看護実践を想起し、記述することができる。 2)臨地で経験した看護実践について、看護理論を用いて考察することができる。 3)看護理論の看護実践への活用と可能性および限界について論じることができる。 4)看護専門職として、看護における理論の重要性について考察する						
関連科目	看護学原論・看護現象と看護理論・各臨地実習・課題探求Ⅱ						
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価		評価に対するフィードバック方法		
	最終評価プレゼン	50%	目標1~4		プレゼン後のレビュー評価		
	課題	30%	目標1~4		コメントを記載し課題を返却する		
	グループワーク	20%	目標1~4		授業時に説明		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力		
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		◎	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション			適切な看護実践	
回	日程	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	4/8 3限	ガイダンス 看護理論概説			テキストpp.2-17		予習0.5時間 復習0.5時間
2	4/8 4限	ナイチンゲールの看護哲学 人と環境の相互作用			テキストpp.20-28; 配布資料		予習0.5時間 復習0.5時間
3	4/15 2限	大理論:ロイ適応看護モデル			テキストpp.184-192; 配布資料		予習0.5時間 復習0.5時間
4	4/15 3限	ヘンダーソンの看護哲学 人間の基本的欲求(ニード)と看護の役割			テキストpp.30-39		予習0.5時間 復習0.5時間
5	4/15 4限	大理論:オレムの患者の「セルフケア」			テキストpp.76-86		予習0.5時間 復習0.5時間
6	4/22 2限	中範囲理論:コルカバのコンフォート理論 ミッシェル:病気における不確かさ			※課題GW:看護理論家の「人・環境・健康・看護」テキストpp.193-203; 258-268		予習0.5時間 復習0.5時間
7	4/22 3限	中範囲理論:ベンダー:ヘルスプロモーションモデル ペナー:臨床技術の修得・熟達モデル			テキストpp.233-244; 246-256		予習0.5時間 復習0.5時間
8	4/22 4限	演習:これまで出会った印象的な事例と看護理論の適用 理論:パースィー「その人らしくなる人間生成」理論			テキストpp.206-217		予習0.5時間 復習0.5時間
9	4/29 1限	まとめ・課題発表準備(GW)					予習0.5時間 復習0.5時間
10	4/29 2限	まとめ・課題発表準備(GW)					予習0.5時間 復習0.5時間
11	4/29 3限	中範囲理論:キングの患者と患者の相互行為-目的達成論; オーランドーの対人関係論と看護過程			テキストpp. 122-132; 134-142		予習0.5時間 復習0.5時間
12	4/29 4限	中範囲理論:トラベルビー「人間対人間の看護」 ペブローウ看護師-患者の対人関係理論			テキストpp.144-153; 50-59		予習0.5時間 復習0.5時間
13	5/20 2限	各理論家をとりあげた課題のグループ発表					予習0.5時間 復習0.5時間
14	5/20 3限	各理論家をとりあげた課題のグループ発表					予習0.5時間 復習0.5時間
15	5/20 4限	各理論家をとりあげた課題のグループ発表					予習0.5時間 復習0.5時間

使用 テキスト	筒井真優美編 看護理論:看護理論21の理解と実践への応用, 第3版, 南江堂, 2019
参考図書	1. フローレンス ナイチンゲール／小玉香津子・尾田葉子訳(看護覚書:本当の看護とそうでない看護, 日本看護協会出版界 2. 日本看護協会監修 新版看護者の基本的責任:定義・概念／基本法／倫理 3. 各理論家のテキストおよび文献
教員に対する 質問方法	津波古澄子 メールアドレス s_tshako@kyotokango.ac.jp 宇野真由美 メールアドレス m_uno@kyotokango.ac.jp

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護教育論		BNNSS7L11	30201	4前	1 (15)	選択
担当教員	◎ 緋坂 由紀	実務歴	有	看護師として病院に3年勤務		
概要	<p>看護師には、指導者としての役割を担うこと、看護専門職として学修を継続していくことが求められる。本授業では、教育・学習活動を行なうために必要となる成人教育理論や学習の原理、主体性を育む教育・学習方法について学ぶ。本授業では、実際に協同学習法を取り入れながら学修していく。</p> <p>さらに、日本の看護教育に関連する法律・規則の歴史を俯瞰し、特に看護師および准看護師の教育・資格制度の成立過程を学修する。また、看護教育カリキュラムの変遷と特徴を学修する。</p>					
到達目標	<p>1. 教育・学習に関わる原理、理論、方法について説明できる</p> <p>1) 成人教育理論、学習の原理を説明できる</p> <p>2) 「マインドマップ」「ラウンド＝ロビン」「特派員」などの教育・学習方法の目的を理解し実践できる</p> <p>2. 看護教育に関連する法律・規則、カリキュラムについて説明できる</p> <p>1) GHQの改革と戦後の教育改革を説明できる</p> <p>2) 保健師・助産師・看護師および准看護師の成立過程を説明できる</p> <p>3) 看護教育カリキュラムの変遷と特徴を説明できる</p>					
関連科目	看護キャリア開発論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	80%	到達目標1、2－80%	定期試験後のレビューで説明		
	事前・事後課題、授業参画(相互評価含む)	20%	到達目標1、2－20%	コメントを記述し返却もしくは授業時に説明		
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	ガイダンス あなたが考える「教育と学習」とは ▶学習方法:「マインドマップ」			【予習】提示された課題を行う 【復習】講義・演習内容をまとめる		予習2時間 復習2時間
2	あなたが考える「教える、指導する」とは ▶学習方法:「ラウンド＝ロビン」 学習の原理:知識・技能・態度の学習のプロセス、動機づけ理論			【予習】学習の原理、動機づけ理論について図書を用いて調べておく 【復習】講義・演習内容をまとめる		予習2時間 復習2時間
3	成人教育理論:アンドラゴジーとペダゴジー 教育方法のパラダイムの転換としての協同学習			【予習】成人教育理論、協同学習について図書を用いて調べておく 【復習】講義・演習内容をまとめる		予習2時間 復習2時間
4	看護教育カリキュラム アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー			【予習】3つのポリシーについて図書を用いて調べておく 【復習】講義・演習内容をまとめる		予習2時間 復習2時間
5	看護教育カリキュラムの変遷と特徴①			【予習】看護教育カリキュラムについて図書を用いて調べておく 【復習】講義・演習内容をまとめる		予習2時間 復習2時間
6	看護教育カリキュラムの変遷と特徴②－GW－			【予習】提示された課題を行う 【復習】グループで立てた課題を行う		予習2時間 復習2時間
7	看護教育カリキュラムの変遷と特徴③－GW－			【予習】グループで立てた課題を行う 【復習】プレゼンに向け準備を行う		予習2時間 復習2時間
8	看護教育カリキュラムの変遷と特徴④－プレゼン－ ▶学習方法:「特派員」			【予習】プレゼンに向け準備を行う 【復習】講義・演習内容をまとめる		予習2時間 復習2時間

9	看護教育制度ー原始および古代、中世、近代、近代、現代ー	【予習】看護教育制度の歴史について図書を用いて調べておく 【復習】講義・演習内容をまとめる	予習2時間 復習2時間
10	看護教育制度ー第二次世界大戦後の看護教育ー「GHQの改革」①ーワーク、プレゼンー ▶学習方法:「ジグソー」	【予習】提示された課題を行う 【復習】プレゼンに向け準備を行う	予習2時間 復習2時間
11	看護教育制度ー第二次世界大戦後の看護教育ー「GHQの改革」②ープレゼンー ▶▶学習方法:「ジグソー」	【予習】プレゼンに向け準備を行う 【復習】講義・演習内容をまとめる	予習2時間 復習2時間
12	看護教育制度ー准看護師制度成立過程ー 看護教育制度ー准看護師制度の現状と問題ー①	【予習】准看護師制度について図書を用いて調べておく 【復習】講義・演習内容をまとめる	予習2時間 復習2時間
13	看護教育制度ー准看護師制度成立過程ー 看護教育制度ー准看護師制度の現状と問題ー②ーGWー	【予習】グループで立てた課題を行う 【復習】プレゼンに向け準備を行う	予習2時間 復習2時間
14	看護教育制度ー准看護師制度の現状と問題ー③ープレゼンー ▶学習方法:「特派員」	【予習】プレゼンに向け準備を行う 【復習】講義・演習内容をまとめる	予習2時間 復習2時間
15	まとめ	【予習】提示された課題を行う 【復習】講義・演習内容をまとめる	予習2時間 復習2時間
使用テキスト	1. ロイロノートスクール		
参考図書	1. 杉田暉道(最新版):系統看護学講座 別巻 看護史 医学書院. 2. グレグ美鈴(最新版):看護学テキストNICE 看護教育学ー看護を学ぶ自分と向き合うー 南江堂. その他は講義時に適宜紹介する		
教員に対する質問方法	メールアドレス:y_ajisaka@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護管理・経営論		BNNHN13L14	202240201	4前	1(45)	必修
担当教員	吉田 乃里子	実務歴	有	看護師として病院に20年看護部長として5年勤務		
概要	看護の対象者に質の高いケア・サービスを提供するために、 看護管理に関する基本的知識や役割・組織体制整備・運営 について幅広く学ぶ。 質の高いサービスを提供できる マネジメント能力 は、看護管理者だけでなく、すべての看護者に要求されることであり、看護専門職者としての自覚を高める。					
到達目標	1. 現在の保健医療福祉サービスの現状を理解し、看護管理に求められる役割について述べることができる。 2. 看護の質と看護管理の関連を説明できる。 3. 看護管理者の行う組織マネジメントについて説明できる。 4. 看護の質を高めるための組織変革の必要性を説明できる。 5. 看護師等の人材の育成と多様な医療職者との協働とコミュニケーションについて説明できる。 6. 医療施設の効果的な運用に必要な看護と経営について説明できる。					
関連科目	臨床実践と看護理論、看護教育論、医療安全、看護キャリア開発論、総合実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	レポート	60%	1～6各10%	定期試験後のレビューで説明		
	授業参画	30%	事前・事後学習課題 授業参加度			
	小テスト	10%		次回講義時間で説明		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人の人間理解		職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	○
回	学修内容		予習・復習内容			取組時間
1	看護管理の基礎		(予復習)看護管理を学ぶ意義について確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
2	看護サービス管理		(予復習)看護サービスの特徴と課題を確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
3	近年におけるマネジメント過程と変遷		(予復習)医療政策と看護管理について確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
4	看護サービスのマネジメント モノ・情報・コスト		(予復習)看護サービスの特徴とマネジメント理論を確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
5	看護サービスのマネジメント 人的資源管理		(予復習)人的資源における組織文化について確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
6	情報の取り扱いと管理		(予復習)電子カルテ運用における3基準と個人情報保護について確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
7	看護管理に求められる能力		(予復習)コミュニケーション、ストレス・時間管理について確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
8	看護組織と管理		(予復習)看護提供システムの種類と特徴を確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
9	医療の質 医療職と協働・連携とマネジメント		(予復習)職種間の連携とマネジメントの要素を確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
10	看護の質とその保証 倫理・安全管理		(予復習)倫理・安全管理のための仕組み作りを確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
11	看護サービスの質の管理とその評価		(予復習)医療の質の視点と看護の質の指標を確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
12	看護管理とリーダーシップ		(予復習)集団に働きかけるリーダーシップについて確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
13	働きやすい職場環境づくり		(予復習)看護師等の労働安全衛生、交代制勤務、患者満足と職務満足の関係について確認する			予習1.0時間 復習1.0時間
14	看護と経営		(復習)医療経費と看護、経営管理指標について確認する			復習2.0時間
15	看護の質と看護管理 まとめ		(復習)1～13回までの授業内容の確認をする			復習2.0時間
使用テキスト	手島 恵他編, (最新版)看護管理学 改訂版第3版, 南江堂					

参考図書	適宜紹介 上泉和子他(2018)看護管理, 医学書院 吉田千文他(2023)看護管理, MCメディカ出版 日本看護協会編(2023)看護に活かす基準・指針・ガイドライン, 日本看護協会出版会
教員に対する 質問方法	メールアドレス:n_yoshida@kyotokango.ac.jp オフィスアワー: 在校生HPを確認

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護キャリア開発論		BNNSS8L14	30204	4後	1(30)	必修
担当教員	◎宇野真由美		実務歴	有	看護師として病院に7年勤務	
概要	生涯発達および生涯学習の視点から社会人として働くことの基本的知識に基づき、 看護専門職 として働き自身の キャリアを発展 させることの意義を学ぶ。看護大学生から 看護師となる移行期、新人期、中堅、ベテランへのキャリア発達と臨床における実際を理解 し、それらに関するマネジメントについて理論を通して学び、 働き方の質 についても考慮した 自己のキャリアプラン を描き表現する。					
到達目標	1 生涯発達を基盤に社会人として組織で働くことの意義を説明できる。 2 一般的なキャリア、キャリアディベロップメント、キャリアマネジメントについて説明ができる。 3 看護職個人としてのキャリア、キャリアディベロップメント、キャリアマネジメントと組織の体制について説明ができる。 4 キャリアについて、理論を通して述べるができる。 5 働き方の質を考慮した自己のキャリアプランについて述べるができる。					
関連科目	看護教育論、看護管理・経営論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	レポート	70%	目標1～5 各20%	レビューで全体コメントを行う		
	毎回の授業レポート	30%	各授業目標			
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	ガイダンス、社会人として組織で働くということ			【予習】社会人について考える 【復習】授業中に指示する		予習 復習 1時間
2	生涯学習・生涯発達			【予習】生涯学習とは 【復習】授業中に指示する		予習 復習 1時間
3	キャリアとは			【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する		予習 復習 1時間
4	専門職および看護専門職			【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する		予習 復習 1時間
5	職業とトランジション			【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する		予習 復習 1時間
6	キャリアディベロップメント			【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する		予習 復習 1時間
7	職能団体、組織におけるキャリアディベロップメント			【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する		予習 復習 1時間
8	キャリアマネジメント			【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する		予習 復習 1時間
9	キャリアアンカー			【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する		予習 復習 1時間
10	ドレイファスモデル、看護能力とキャリア			【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する		予習 復習 1時間

11	ベナーの理論に基づく看護実践とキャリア形成	【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する	予習 復習 1時間
12	プレイフルなキャリアデザインワーク(その1)	【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する	予習 復習 1時間
13	プレイフルなキャリアデザインワーク(その2)	【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する	予習 復習 1時間
14	自己のキャリアデザイン	【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する	予習 復習 1時間
15	自己のキャリアデザイン	【予習】前回の授業で出た課題を行う 【復習】授業中に指示する	予習 復習 1時間
使用 テキスト	なし。適宜資料を提示する。		
参考図書	適宜紹介する		
教員に対する質 問方法	メールアドレス:m_uno@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
医療安全		BNNHN15L16	202240203	4前	1(45)	必修
担当教員	吉田 乃里子	実務歴	有	看護師として病院に20年看護部長として5年勤務		
概要	医療安全の現状から 医療管理に関する基本的知識や組織的取り組み までを幅広く学習する。安全管理の意義や医療事故の定義などとともに 看護師の役割 を学ぶ。また、実践的に医療安全を学ぶために看護実践上で起こりうる事象を分析し、討議することで リスク感性の育成 を行う。組織的取り組みについては、 医療安全上求められるチーム医療のありかた について学習する。					
到達目標	1. 医療安全を学ぶことの重要性を説明できる。 2. 看護職の法的規定と医療安全について述べるができる。 3. 人間のエラー発生防止としてのKYTトレーニングで危険な箇所を述べるができる。 4. 看護業務における事故と安全対策を挙げることができる。 5. 組織的な医療安全体制の必要性と取り組みについて述べるができる。					
関連科目	看護教育論、看護管理・経営論、看護キャリア開発論、災害看護論、総合実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	80%	1-10% 2-10% 3-15% 4-25% 5-20%	定期試験後のレビューで説明		
	事前・事後学習課題 授業参加度	20%	1-5% 3-5% 4-10%	各講義時間で説明		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	科目ガイダンス、医療安全を学ぶことの意義、医療事故とヒューマンエラーについて			【予習】シラバス、p2-14を読んでおく 【復習】授業資料、教科書で復習する		予習1.0時間 復習1.0時間
2	看護師に求められる医療安全の知識・心構え 看護事故防止の考え方			【予習】教科書p17-36を読み課題を行う 【復習】授業資料、教科書で復習する		予習1.0時間 復習1.0時間
3	看護における業務特性と医療事故、診療の補助業務 1. 注射業務と事故防止、RCA(根本原因分析)について			【予習】教科書p41-六一、231、講義資料を読む 【復習】授業資料、教科書で復習する		予習1.0時間 復習1.0時間
4	看護における業務特性と医療事故、診療の補助業務 2. 輸液ポンプシリンジポンプの事故防止(演習)、輸血業務と事故防止			【予習】教科書p62-85、資料を読み課題を行う 【復習】授業資料、教科書で復習する		予習1.0時間 復習1.0時間
5	診療の補助業務 3. 内服と薬業務・経管栄養(注入)業務・チューブ管理			【予習】教科書p86-118、資料を読み課題を行う 【復習】授業資料、教科書で復習する		予習1.0時間 復習1.0時間
6	診療の補助業務における医療事故事例の要因分析 GW発表準備			【予習】講義資料を読み課題を行う 【復習】授業資料、教科書で復習する		予習1.0時間 復習1.0時間
7	多重課題・タイムプレッシャー			【予習】教科書p162-176を読み課題を行う 【復習】授業資料、教科書で復習する		予習1.0時間 復習1.0時間
8	医療安全とコミュニケーション			【予習】教科書p178-187、講義資料を読む 【復習】授業資料、教科書で復習する		予習1.0時間 復習1.0時間
9	看護事故の構造とリスクマネジメント インシデントの分析、KYTトレーニングについて			【予習】講義資料を読み課題を行う 【復習】事例の要因分析と対策の立案・発表準備		予習1.0時間 復習1.0時間
10	療養上の世話における事故と安全対策(転倒・転落事故の防止、摂食中の窒息・誤嚥事故防止、入浴中の事故の防止対策検討)			【予習】効果的な発表ができるための準備 【復習】学びの振り返りと自己課題の明確化		予習1.0時間 復習1.0時間
11	診療の補助・療養上の世話における事故事例の検討結果発表			【予習】効果的な発表ができるための準備 【復習】学びの振り返りと自己課題の明確化		予習1.0時間 復習1.0時間
12	地域における在宅療養者の安全			【予習】【復習】教科書p190-204を読み課題を行う		予習1.0時間 復習1.0時間
13	看護師の労働安全衛生上の事故防止			【予習】【復習】教科書p206-222を読み課題を行う		予習1.0時間 復習1.0時間
14	組織的な安全管理体制への取り組み			【予習】教科書p224-246を読み課題を行う 【復習】授業資料、教科書で復習する		予習1.0時間 復習1.0時間

15	医療安全対策の国内の潮流と国際的連携、まとめ	【予習】教科書p248-266を読み課題を行う 【復習】全15回の内容を確認する	予習1.0時間 復習1.0時間
使用 テキスト	川村治子（最新版）『系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践2 医療安全』医学書院		
参考図書	飯田修平 2023年, 医療安全管理テキスト第5版, 日本規格協会 鹿内清三 2021年, 医療安全実践ガイド第2版, 日本看護協会出版会 石川雅彦 2018年, RCA実践マニュアル第2版, 医学書院 その他 適宜紹介		
教員に対する 質問方法	メールアドレス:n_yoshida@kyotokango.ac.jp オフィスアワー: 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
災害看護論		BNNSS7L16	30206	4前	1(30)	必修
担当教員	◎田口 豊恵	実務歴	有	看護師として病院に13年勤務		
担当教員	三林 聖司	実務歴	有	准看護師・看護師として病院に22年勤務		
担当教員	小原 真理子	実務歴	有	看護師として病院に8年勤務		
担当教員	木下 まゆみ	実務歴	有	看護師として病院に12年7か月勤務		
概要	災害看護の歴史や基礎知識について理解を深める。近年、国内外で発生した災害を取り上げて、 災害サイクルおよび被災者 特性に応じた災害看護の展開 の在り方について学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害看護の歩み、災害医療の基礎知識と特徴について説明できる。 2. 災害看護の基礎知識について理解できる。 3. 災害サイクル各期における特徴と健康問題について理解できる。 4. 被災者特性に応じた災害看護の展開と看護師の役割について考えられる。 5. 病院における防災・減災について考えられる。 					
関連科目	クリティカルケア論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	100%	到達目標1・2・5:30% 到達目標3・4:70%	定期試験後のレビューで説明する (非常勤講師のレビューも含む)		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	
回	学修内容	事前学修(時間内確認)・ 事後学修(時間内または次時間確認、補足)			取組時間	
1	講義ガイダンス、災害看護学を学ぶ意義と災害看護の歩み	【事前学修】能登半島地震について調べる 【事後学修】講義で使用した事例をまとめる			1	
2	災害医療の基礎知識①災害の定義、災害の種類と健康障害、災害医療の特徴	【事前学修】p40-63、p74-82を読む 【事後学修】講義中に指示する			1	
3	災害医療の基礎知識②災害と情報、職種・組織間連携、災害看護と	【事前学修】p84-107を読む 【事後学修】講義中に指示する			1	
4	災害看護の基礎知識:地域防災・減災、災害関連死	【事前学修】p107-113を読む 【事後学修】課題の事例をまとめる			1	
5	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護:急性期・亜急性期	【事前学修】p130-141を読む 【事後学修】課題の事例をまとめる			1	
6	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護:慢性期・復興期	【事前学修】p141-150を読む 【事後学修】講義中に指示する			1	
7	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護:静穏期	【事前学修】教科書P155-160を読む 【事後学修】提示した課題をまとめる			1	
8	被災者特性に応じた災害看護の展開①高齢者・障がい者に対する災害看護	【事前学修】教科書P151-153を読む 【事後学修】提示した課題をまとめる			1	
9	被災者特性に応じた災害看護の展開②子供に対する災害看護	【事前学修】教科書P154-158を読む 【事後学修】提示した課題をまとめる			1	
10	被災者特性に応じた災害看護の展開③妊産婦に対する災害看護	【事前学修】事前に指示する 【事後学修】講義中に指示する			1	
11	災害看護の実際:日本赤十字社の活動①	【事前学修】講義中に指示する 【事後学修】講義中に指示する			1	
12	災害看護の実際:日本赤十字社の活動②	【事前学修】講義中に指示する 【事後学修】講義中に指示する			1	

13	災害時に多い健康障害、特有の疾病、トリアージ	【事前学修】講義中に指示する 【事後学修】講義中に指示する	1
14	病院における防災・減災	【事前学修】講義中に指示する 【事後学修】講義中に指示する	1
15	まとめ	【事前学修】講義全体の復習をする 【事後学修】重要ポイントを整理する	1
使用 テキスト	①浦田喜久子 小原真理子他 『系統的看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 最新版』医学書院 ②山勢博彰 山勢善江他 『系統的看護学講座 救急看護学 最新版』医学書院		
参考図書	講義中に提示する		
教員に対する 質問方法	田口豊恵 t_taguchi@kyotokango.ac.jp 三林聖司 s_mitsubayashi@kyotokango.ac.jp 小原真理子 m_ohara@kyotokango.ac.jp 非常勤:木下まゆみ (教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp) オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
災害看護技術演習		BNNSS8E17	30207	4前	1(30)	選択
担当教員	◎田口 豊恵	実務歴	有	看護師として病院に13年勤務		
担当教員	三林 聖司	実務歴	有	准看護師・看護師として病院に22年勤務		
担当教員	小原 真理子	実務歴	有	看護師として病院に8年勤務		
担当教員	木下 まゆみ	実務歴	有	看護師として病院に12年7か月勤務		
概要	災害看護論で学んだ基本的な知識をもとに、 災害を想定したシミュレーションや演習等 を行い、災害時に求められる対応や看護について考察する。看護の専門知識を統合し、 各災害サイクルに求められる看護や、要支援者への対応 についても理解を深める。また実際に 災害現場で活動した看護師の体験 を通して、 被災者や要支援者の思いに触れ看護の視野を広げる。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活における災害対策について考えられる。 2. 被災者特性に応じた看護について考えられる。 3. 災害急性期に必要なトリアージや応急処置を習得できる。 4. 避難所における状況をアセスメントし、必要な看護を考えられる。 5. DMATの活動内容について説明できる。 6. 被災者・救援者のストレスとこころのケアについて考えられる。 					
関連科目	災害看護論、3年生実習科目					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価		評価に対するフィードバック方法	
	事後課題	40%	到達目標1・4・5・6:各10%		事後課題については講義時に解説する。レポートは、評価基準を事前に伝達、レビューでコメントする。	
	レポート	60%	到達目標2:40% 到達目標3:20%			
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解		○	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		○	適切な看護実践 ◎
回	学修内容			予習内容(時間内確認)・復習内容(時間内または次時間確認、補足)		取組時間
1	ガイダンス、日常生活における防災について考える			【事前学修】①p141-150を読んでおく 【事後学修】授業資料、教科書で復習		1
2	高齢者に対する災害看護			【事前学修】①p159-161を読んでおく 【事後学修】授業資料、教科書で復習		1
3	精神障がい者に対する災害看護			【事前学修】①p162-168を読んでおく 【事後学修】授業資料、教科書で復習		1
4	子どもに対する災害看護			【事前学修】①p151-153を読んでおく 【事後学修】授業資料、教科書で復習		1
5	妊産婦に対する災害看護			【事前学修】①p154-158を読んでおく 【事後学修】授業資料、教科書で復習		1
6	災害とこころのケア:救援者のストレスとこころのケア			【事前学修】①p177-192 読んでおく		1
7				【事後学修】授業資料、教科書で復習		1
8	災害急性期に必要とされる看護技術①応急処置、包帯法			【事前学修】巻末 付録 動画①応急処置A 搬送法B、②1~4を2回以上視聴しておく		1
9	災害急性期に必要とされる看護技術②搬送法			【事後学修】授業資料、教科書で復習		1
10	災害急性期に必要とされる看護技術③トリアージ			【事前学修】配布事例について調べる 【事後学修】授業資料、教科書で復習		1
11	災害発生現場を想定した救援活動:模擬傷病者に対するトリアージ			【事前学修】配布事例について調べる 【事後学修】授業資料、教科書で復習		1
12	避難所シミュレーション:急性・亜急性期			【事前学修】①p107-129を読んでおく 【事後学修】授業資料、教科書で復習		1

13	避難所シミュレーション:慢性期・復興期	【事前学修】①p130-141を読んでおく 【事後学修】授業資料、教科書で復習	1
14	災害急性期における看護活動:DMATの活動(ゲストスピーカー)	【事前学修】DMATについて調べておく 【事後学修】授業資料、教科書で復習	1
15	まとめ	【事前学修】1~14講の復習 【事後学修】授業資料、教科書で復習	1
使用 テキスト	①浦田喜久子 小原真理子他 『系統的看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 最新版』医学書院 ②山勢博彰 山勢善江他 『系統的看護学講座 救急看護学 最新版』医学書院		
参考図書	講義中に提示する		
教員に対する 質問方法	田口豊恵 t_taguchi@kyotokango.ac.jp 三林聖司 s_mitsubayashi@kyotokango.ac.jp 小原真理子 m_ohara@kyotokango.ac.jp 非常勤:木下まゆみ (教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp) オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護技術強化演習		BNNSS8E19	30209	4前	1(45)	必修
担当 教員	全教員					
概要	看護専門職があらゆる看護場面において行う安全な看護実践には、アセスメント時の思考過程である臨床推論と対象に適した看護技術を含む確かな臨床判断力が必要である。 本科目では3年次の臨地実習において到達度の低い看護技術を取りあげ、その要因を分析するとともに、再学習の機会とする。また、エビデンスに基づく看護技術についてグループワーク発表を通して共有する。					
到達 目標	3年次の実習における看護技術到達度に対して以下のことができ、講義・技術演習を通して強化できる。 1. 各科目毎の評価に対する課題を検討することができる。 2. 到達の低い看護技術についての再学習することができる。 3. 到達の低い看護技術を実践することができる。 4. 到達の低い看護技術をピアアセスメントすることができる。 5. エビデンスに基づく看護技術についてグループで発表することができる。 6. 看護の知識が総合的に身につけている。					
関連 科目	全ての既習科目					
成績 評価		割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	100%	目標6	別途レビューで説明		
DPとの 対応			人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎
回	学修内容			事前学習・事後学修		取組 時間
1	ガイダンス、 3年次の技術到達度の評価(実習科目担当者より説明)			【事前学習】事前にBLにアップする 【事後学修】講義中に指示する		1
2	GW:各科目毎の評価に対する課題検討			【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する		1
3	GW:到達の低い看護技術についての再学習①			【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する		1
4	GW:到達の低い看護技術についての再学習②			【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する		1
5	到達の低い看護技術の実践①			【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する		1
6	到達の低い看護技術の実践②			【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する		1
7	到達の低い看護技術の実践③			【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する		1
8	到達の低い看護技術の実践④			【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する		1
9	到達の低い看護技術の実践とピアアセスメント①			【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する		1
10	到達の低い看護技術の実践とピアアセスメント②			【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する		1
11	到達の低い看護技術の実践とピアアセスメント③			【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する		1

12	到達の低い看護技術の実践とピアアセスメント④	【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する	1
13	エビデンスに基づく看護技術について発表① PPTと実技を交えて発表(事例をいれて考案)	【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する	1
14	エビデンスに基づく看護技術について発表②	【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する	1
15	エビデンスに基づく看護技術について発表③	【事前学習】前の時間に指示する 【事後学修】講義中に指示する	1
使用 テキスト	適宜紹介する。		
参考図書	適宜紹介する。		
教員に対する 質問方法	メールアドレス： オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
課題探求実習		BNNSS7P52	39912	4前	1(45)	必修
担当教員	全教員 (科目統括:吉田えり)					
概要	少子高齢化多死社会を迎えた日本の医療と看護における現状の課題について理解を深める。 また、3年次の領域別看護学実習および課題探求Ⅰと結合させて考察し、興味・関心のある看護分野において自己の研究課題を明確化し、卒業研究へとつなげる。					
到達目標	実習要項参照					
成績評価						
学修内容						
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
総合実習		BNNSS7P53	39913	4前	1(45)	必修
担当教員	◎吉田えり、吉田乃里子、門田典子、佐野千尋、南好江、吉田玉美、他					
概要	臨地のリアリティに触れた経験から、これまで学んできた看護専門職としての必要な「智をいつくしむ力」、「人をいつくしむ力」、「命をいつくしむ力」を統合し、医療システムを俯瞰したうえで、これからの看護専門職の役割を考究する。さらに、学生から看護専門職に役割移行をするうえでの課題を自ら設定し、自己研鑽する基本的能力を身につける。					
到達目標	実習要項参照					
成績評価						
学修内容						
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	○

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
課題探求Ⅱ		BNNRS7E02	40102	4通	2(60)	必修
担当教員	教授・准教授・講師・助教で担当する (科目統括:中森美季)					
概要	研究的視点を持って看護を主体的に探求するプロセスを経験し、研究への興味を持ち、研究的態度と看護研究の意義について学ぶ。具体的には、課題探求実習で見出した自らの研究課題についての文献検討、研究計画の立案、研究倫理審査の申請、データ収集、分析・考察、卒業論文執筆、成果発表の一連のプロセスを実際にたどり、看護研究を遂行するための基礎的能力を培う。担当教員の指導のもとに少人数の学生が集い、自主的に研究、発表、討論を行う「ゼミナール(ゼミ)形式」の授業とする。					
到達目標	1) 自己が見出した課題を主体的に探究することができる。 2) 看護研究の経験を通して一連のプロセスを実践することができる。 3) 得られたデータを看護の視点で科学的に分析し、論理的に説明することができる。 4) 自己の研究での倫理的配慮の必要性とその内容を具体的に説明することができる。					
成績評価	種別	割合(%)	到達目標に対する評価基準等			
	プロセス	25%	1)15% 2)10%			
	論文	40%	3)4) 40%			
	発表	25%	3)4) 25%			
	最終レポート	10%	1)2)3)4) 10%			
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
全30回	【授業計画】 担当教員の助言を受けて、一連の研究プロセスをたどる。 1)研究課題の明確化 2)文献検討(文献検索と文献クリティーク) 3)研究計画の立案 4)研究倫理委員会への倫理審査申請 5)データ収集・分析・考察 6)卒業論文の執筆 7)成果の発表(発表会でのプレゼンテーション) ＊適宜、ゼミ単位で学習会、経過報告会、予演会などを行う。 ※前期15回、後期15回実施			課題探求Ⅰで扱う研究方法論を十分に学習して自己の研究に取り組むこと。 研究プロセスをスムーズに進めるために長期的な計画を立てるとともに、毎回のゼミの前には十分な準備を行い、自主的に学んでいくこと。		
使用テキスト	坂下玲子,『看護研究』,医学書院,最新版					
参考図書	担当教員の助言に従う。					